



# 山王台だより3月号

令和4年2月28日  
横浜市立山王台小学校  
〒235-0016  
横浜市磯子区磯子5丁目2-1  
TEL 045 (755) 1107

【学校教育目標】自分のよさに気づき、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高め合って生きる



## たくましく生きる

校長 遠藤 清美

裏門近くの梅の蕾が膨らみ、白く小さな花から芳しい香りが春の訪れを知らせてくれます。

令和3年度も残すところ、あと1か月です。今年度も新型コロナウイルス感染症から離れられない一年となりましたが、保護者の皆様、地域の皆様に支えていただいたお陰で今日の日を迎えておりますこと、心より感謝申し上げます。

冬休み明けに急拡大したオミクロン株の感染が本校にも影響を及ぼし、学級閉鎖となったクラスがありました。オミクロン株は感染力の強さや子どもにも感染しやすい点がこれまでのウイルスとは大きく異なることを実感しています。これらのことから子ども達の安全を考慮し、3月に予定していた授業参観や6年生の巣立ちの会など、中止や内容を変更したことについてどうぞご理解ください。

さて、先月の節分の日に1年生は生活科の学習として、個別支援学級は生活単元として豆まきを行いました。本校では個別支援学級を「4組」と呼んでいます。1年生から6年生の20名が在籍し、一斉指導の集団の中よりも、1対1や少人数の方が合っている児童が、それぞれの学びに合わせた目標を設定し、学習をすすめています。その4組の担任から、こんな話を聞きました。

毎年恒例の豆まきで、今年は豆まき前に上級生に「やっつけたい自分の鬼」を書き出してもらいました。「いらいら鬼」「素直に謝れない鬼」「野菜嫌いな鬼」「余計なちょっかいを出す鬼」「集中できない鬼」など様々出てきました。みんなでそれを読んで「誰だろう?」と書いた人を当てたり、「自分も同じだ」と共感したりしました。その中で一人の6年生が「6年間で自分の中の鬼を退治したので、もう鬼はいません」と言いました。みんなで「さすが」と感心したのですよ。

と担任一同、6年間の積み重ねが成果として表れ、感動したと嬉しそうに報告してくれました。

教育はすぐに成果が表れないものもあります。この6年生は6年間かけて心の成長を遂げました。他の6年生もこのように小学校生活でいろいろな経験をし、その度に笑ったり怒ったり泣いたりしながらたくましく成長してきたことでしょう。困難な状況の中でも試行錯誤して乗り越えてきた6年生。自信をもって、これからも歩いて行ってほしいです。6年生53名は3月18日に本校を巣立ちます。🌸